

分掌報告

国学院高校における総合的な学習の時間（進路学習）

進路指導部 清水 宏 (Hiroshi SHIMIZU)
 幸松 世剛 (Seigo KOMATSU)
 大平 剛 (Go OHDAIRA)
 笠原 卓巳 (Takumi KASAHARA)

文部科学省より

① 総合的な学習の時間の趣旨

各学校は、地域や学校、生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行うものとする。

② 総合的な学習の時間のねらい

- 1 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- 2 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること。

③ 総合的な学習の時間の学習活動

- 1 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動
- 2 生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について、知識や技能の深化、総合化を図る学習活動
- 3 自己の在り方生き方や進路について考察する学習活動

各学校における総合的な学習の時間の名称については、各学校において適切に定めるものとする。

総合的な学習の時間の学習活動を行うに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

しみずひろし：数学科 こうまつせいごう：英語科
 おおだいらごう：国語科 かさはらたくみ：国語科

- (1) 自然体験やボランティア活動、就業体験などの社会体験、観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れること。
- (2) グループ学習や個人研究などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫すること。
- (3) 総合学科においては、総合的な学習の時間における学習活動として、原則として上記2に示す活動を含むこと。

國學院高校における総合的な学習の時間

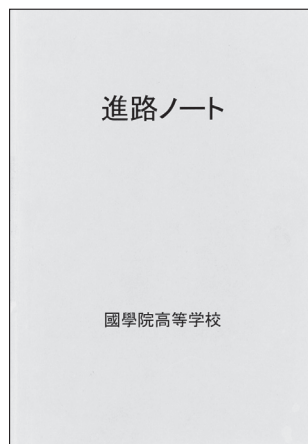
本校の「総合的な学習の時間」（以下、総合学習と略称する）は、平成15年（2003年）4月から、完全学校週5日制の導入の中で新たな学習活動として登場した。総合学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとすることから、思考力・判断力・表現力等が求められる「知識基盤社会」の時代においでます。重要な役割を果たすものである。

本校では、生徒全員に進路ノートを配布し、それぞれのイベントを通して得た情報を書き込ませ、さらにそれを発表して級友とも分かち合う。

また、当初1学年ではエゴグラム・ジョハリの窓・職場訪問を実施していたが、検討を重ね現在のプログラムになっている。

進路学習の意義

「進路」を考えるとということは、「自分がどう生きたいか」を考えることだ。単なる大学受験のモチベーション学習ではない。それは成果の一部でしかない。真のねらいは「生きることを養うこと」だ。自己模索と世界認識の困難な時代に、自分と世界の双方を段階的に手探りし、自己実現の道を選択してゆく、またそのように自分で歩める力を養うことを意図したプランである。



1年生の総合学習（進路学習）の目的

時期	内容	目的
校外研修	クラスミーティング	他者の目を通して自分を知る。
5月GW	自分史	過去を振り返り、自分を知る。
6月	「社会の中で自分の役割を考える」	自分を取り巻く社会を知り、自分と社会との関係性について考える。
7、8月 夏季休暇	オープン キャンパス	大学、学部学科について学び、文理選択のヒントとする。 オープンキャンパスの体験を級友と分かち合う。
9月 ～10月	大人へのインタビュー	実際に社会で働いている人の話を聞き、仕事について知る。
11月	職業調べ	職業（特にやりがい）について調査し、またその感想を分かち合う事で自己の仕事観を確立させていく。
冬季休暇	仕事観レポート	仕事観を確立させた事により文理選択を最終的に決定する。

2年生の総合学習（進路学習）の目的

時期	内容	目的
5月GW	学部学科調べ	自分の興味ある学部学科について調べ、さらに志望動機を級友と共有する。
5、6月	学部学科新聞	学部学科についてより掘り下げた研究をする。
7、8月 夏季休暇	オープンキャンパス	具体的な学部学科・大学の選択へと繋げる。
11月	模擬授業（事前学習）	大学から出される課題に取り組む。
12月	模擬授業	大学の生の講義を聴き、学部学科の最終決定の材料の一つにする。
1月	模擬授業（事後学習）	講義レポートの作成をする。
3月	3年生メッセージ	進路選択や受験体験についての先輩の体験談を聞き、教訓とする。

3年生の総合学習（進路学習）の目的

時期	内容	目的
4月	進学説明会	現役大学生のアドバイスを聞き、大学生活をイメージするとともに、受験勉強のモチベーションとする。
10月～ 12月	卒業文集	3年間の歩みを振り返る。

第1学年の進路学習について

1. 1年進路学習の流れ

1. 1 自己理解
1. 2 社会研究
1. 3 文理選択
1. 4 仕事観研究

2. 実施方法と効果

1. 1 『自己理解』

1. 1. 1 実施方法と時期

a クラスミーティング

4月の下旬に行われる「校外研修」（2泊3日）で実施する。初日のクラスミーティングでは事前に進路ノートにまとめた「私の人生で大切なもの」をグループごとに話し合い、発表する。2日目のクラスミーティングでは「どういう高校生活を送りたいか」を発表し、それらを可能にしていけるようなクラス目標を作る。両日ともにクラスメイトの発表を聴いて感じたことを進路ノートにまとめる。最終日はオリエンテーションで活動を共にしたグループのメンバーひとりひとりに向けてメッセージカードを作成し、交換する。

b 自分史

GW前の学年集会で、「自分を見つめること」について教員から話をし、連休中の課題として「自分史（年表）」と「私の歩みを振り返る」のワークシートに取り組みさせる。

1. 1. 2 生徒の様子や効果

「クラスミーティング」では恥ずかしがる生徒もいたが、宿泊を伴うやり取りで信頼関係が生まれ、きちんと自分の考えを発表することができていた。自分を表に出し、メッセージカードを通して、他者に映る様々な姿の自分を知ることができたようだ。

クラスミーティングとは逆に、「自分史」ではこれまでの自分を冷静に見つめ直すことによって現在の自分の立ち位置を把握し、これからどのように生きていくべきか、そのヒントを得ることができたようだ。

※平成24年度は、校外研修は実施されなかったので違うプログラムになった。

1. 2 『社会研究』

1. 2. 1 実施方法と時期

「社会の中での自分の役割を考える」ために関心のある社会問題について自由に研究し、「社会問題新聞」の作成を行う。1学期の中間考査明けに学年集会を行い、「社会問題新聞」の作成について諸注意を行う。課題で「自分の就きたい仕事」、「気になる社会問題」について考えさせる。社会問題に関しては原因や根本を考えさせ、どのような経緯で社会問題へと発展したかなどのメモを作成させる。より多くの人に関心を抱いてもらえるように体裁を整え、「社会問題新聞」を作り、廊下に掲示する。後日「あなたと社会の関係」について再び考えさせ、自由なタイトルで作文させる。

1. 2. 2 生徒の様子や効果

「新聞」という体裁が生徒の興味をそそったようである。廊下に掲示することで他のクラス間で考えや想いを刺激し合い、仕事や社会に対する考えを深めることができたと思われる。「自分の知らないことについて知る機会を得てよかった。」「社会問題新聞を作るうちに、知っているつもりだった問題が、実はよく理解できていなかったと実感した。」「これからはもっと新聞を読んでいくようにしたい。」などの感想があった。

1. 3 『文理選択』

1. 3. 1 実施方法と時期

7月に進路通信を配布し、主要大学のオープンキャンパスの日程を生徒に示す。オープンキャンパスを7月の中旬に実施する大学もあるので注意を促す必要がある。夏休み中にオープンキャンパスに参加し「1年文理選択編」のワークシートを完成させる。このワークシートは、事前に学部学科の「学習内容」、「取得可能な資格」、「卒業後の主な進路」を調べて参加し、参加後感想と文系と理系のどちらに進路選択をしたいかを書かせる書式になっている。また、11月には第1回文理調査があるので、そのことも踏まえて真剣に取り組むように促す必要がある。



オープンキャンパス(1年文理選択編)

1年進路学習の大きな狙いの1つに、「文理選択」があります。間もなく皆さんは、「文理選択」という重要な選択をしなければなりません。さて、今回の進路学習「オープンキャンパス(文理選択編)」では、夏休みを利用して、実際に大学に足を運び、ワークシートを完成させてもらいます。

《 オープンキャンパスに行こう! 》

大学名	早稲田大学	オープンキャンパス実施日	8/3(日)
	法 学部		政治経済 学部
学習内容など	法律専攻履修モデル 競争法 刑罰司法 ・国際関係・公共政策 ・企業金融・市民社会と法 副専攻履修モデル ・英語圏地域研究 歴史思想研究 ・ドイツ圏地域研究 研究 ・フランス語圏地域研究 政治学 ・中国語圏地域研究 研究 表裏文化研究 経済学 言語情報研究 経営学	基礎科目 理論分析 ・国際関係 ・比較歴史 ・公共政策 応用分野 ・公共分野 ・金融分野 ・国際経済分野 ・産業・企業分野 ・生活分野	
取得可能な資格	教員免許状 博物館学芸員 図書館司書 社会教育士 図書館司書教諭 社会福祉士	公務員 税理士 教育職 通関士 公認会計士 社会保険労務士など	
卒業後の主な進路	大学院 東京海上日動火災保険 村野アス・シマビルダーズ	三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 大和証券 など	

《 オープンキャンパスを終えて 》

実際に大学に足を運んだ感想

初めて大学を見て高校との違いに驚きました。たくさんの学部があり自分の興味のあることを専門的に学べるのはいいと思います。大学生は今に比べて色々なことが自由になり生徒数5万人と聞くとたくさんの友達を作ることもできるとも楽しそうだと感じました。サークルの数が3000ということ、学食のおいしさも驚き長い体験かできました。

現在のご自分は(文系)理系 () 国際教養 学部 を希望する。
(どちらかに○)

(理由)
私は英語を話せて書けて読めて外国人とコミュニケーションをとることができたら楽しいかなと思います。それにはこれから英語が大切になっている時代とこの学部は英語と語学を扱うのが良いかと思っております。1年間留学しても10年大学に通ったことになって卒業できる制度があるので良いかなと思います。

《 級友の発表を聞いて 》

グループの人の発表を聞いて色々なやりたいことや進みたい学部があり、そういう道もあるんだなと思いました。私も色々やりたいことを探していこうればその夢に近づけるのを喜ぶように思いました。

9月2日の1Rは進路学習です。グループを作り、このワークシートを用いながら発表を行います。自分で調べたこと、感じたことを分かりやすく発表できるように準備しておきましょう。

ぜひいろいろな先輩の早い段階の受験や志望校の強いサポートでいいかな。国際関係の学部が面白そうに思っています。

1. 3. 2 生徒の様子や効果

志望大学や文系理系も決まっていないうせいか、どの大学のオープンキャンパスに参加するべきか迷う生徒が多かったものの、「自分の就きたい仕事」や「社会問題新聞」を手がかりに大学を選ぶことができていたようだ。実際のキャンパスを歩いて「早く大学に通いたい」など、大学への憧れを感想につづる生徒も多く見受けられた。

1. 4 『仕事観レポート』

1. 4. 1 実施方法と時期

10月上旬の学年集会で進路通信を配布し、仕事観レポート提出までの流れを確認する。1600字という比較的長い文章を書かせるにあたり、国語科の教員から文章作成のアドバイスをする。10月下旬に「大人へのインタビュー」をクラス内で発表させ、感想を書かせる。11月上旬には「職業別やりがい調査」をクラス内で発表させ、これまでの仕事観にどんな変化があったかを簡単にまとめさせる。また、「仕事をする上で大切なこと」もあわせて考えさせる。自身の仕事観について1600字のレポート作成を冬期課題にする。休暇明けに回収し、どのような内容のレポートだったかを簡単にまとめ、クラス内で発表させる。

1. 4. 2 生徒の様子や効果

「仕事別やりがい調査」では自分が目指している仕事は想像以上に大変なものであることに

気が付く生徒や、目指す仕事への憧れを一層強くする生徒が見受けられた。1600字というレポートの字数に怖気づく生徒も多かったが、学年集会でのレポートの書き方の指導により皆きちんと書きあげていたようだ。中には1600字では書き足りないといった生徒もいた。「仕事はお金を稼ぐだけではない」、「生きていくためにはある程度のお金を稼ぐ必要がある」など、仕事に対する様々な気づきを得ることができたようだ。

1年組 番氏名

（この原稿は清書として必ずペンで記入のこと。1200字以上、1600字までの範囲で作成のこと）

国学院高等学校

私の仕事観
～仕事をするとはどういうことか～

前回までの仕事観研究で、自分が興味ある仕事を挙げて調べ、その仕事をする上でのやり、甲斐、大変なところ、必要な覚悟などを考えました。またグループで発表し合うことで、様々な仕事についてそれぞれやり甲斐や大変な部分などが分かってきました。いよいよ仕事をするとどうなるのか、このプログラムを通じていま現在感じているあなたの「仕事観」をまとめてみましょう。

第2学年の進路学習について

1. 1年での進路学習の効果

1. 1 『自分史』

自分が歩んできた道のりを確認し、自分自身について理解を深め、自分が1人で生きてきたわけでないことを認識させる。

1. 2 『社会研究』

自分が社会に属する存在であることを認識し、その中で自分が果たす役割を考えさせる。

1. 3 『文理選択』

夏休みのオープンキャンパスに参加させ、大学の雰囲気味わうとともに、文系・理系の選択について考える機会を与える。

1. 4 『仕事観研究』

どんな職業においても、苦勞とやりがいの両方があることを認識させ、その上で自分が誇りを持ってやっていけると思う職業について考えさせる。

2. 2 学年進路学習について

2. 1 『学部学科研究』

2. 1. 1 実施方法と時期

GW中に『学部・学科が分かる本』やインターネットを利用して、現時点で自分が興味を持っている学部・学科の、以下の7点について調べてくる。「興味を持っている理由」「どんなことが学べるか」「研究のスタイル」「どんな資格が取れるか」「卒業後の進路」「どの大学に設置されているか」「どの科目を勉強しておいたら良いか」。続いて5月上旬に行われるLHRで、主にグループ毎になって、各自上記についてまとめたものを発表し合う。その後、クラスメイトの発表を聴いて感じたことを進路ノートにまとめる。

<p>学部・学科研究ノート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 社会科学系 経営学 おまじた </div> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">学部 学科</p> <p>I 上記の学部・学科に興味を持っている理由は？（自分の適性・興味・将来の職業等と絡めて、家族と話したことに言及しながら具体的に書いてみましょう。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>将来の夢のうちの一つにウエディングプランをひとりで組めて結婚式を挙げられる会社を作りたいという夢があります。そのため、どのようにして会社を設立し成り立たせ、成功することができるのかを学ぶためには経営学について調べるべきだと思ったからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p>II どんなことが学べるのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>企業活動の一連の流れ。企業活動の大きな要素となる「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの柱に基づき、よりよい企業運営の理論と方法。 個々の組織の活動。 「(企業など)がどうすれば利益を高められるか」など。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>III 研究はどんなスタイルで行われているのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1・2年次に経営学・会計学の基礎編と研究方法、経営学の関連講義(経済学や法律、社会学など)、簿記、ケース・演習などの基礎学習と教養を身につける。2・3年次以降は各自の専門分野(例:会計システム、経営・経済学、ほか)を設定し、それに関連する講義と演習(ゼミナール)を受講しそこから研究を進めていく。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
--	--

<p>IV どんな資格が取得できるのか？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>企業経営にまつわる資格。</td> </tr> <tr> <td>・中小企業診断士 ・社会保険労務士</td> </tr> <tr> <td>金融・会計にまつわる資格。</td> </tr> <tr> <td>・証券アナリスト ・フィナンシャルプランナー</td> </tr> </table> <p>V 卒業後はどんな進路に進むことが多いのか？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>民間企業への就職が圧倒的に多い。</td> </tr> <tr> <td>経営企画やマーケティングの知識を活かしたいという思いから、メーカー、流通、サービス業などを志望する人が多い。</td> </tr> </table> <p>VI その学部・学科はどの大学に設置されているのか？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・法政大学 ・武蔵野大学 ・目黒大学 ・生正大学</td> </tr> <tr> <td>・明治大学 ・明治学院大学 ・国学院大学</td> </tr> <tr> <td>・文京学院大学 など（私立）</td> </tr> <tr> <td>・首都大学東京（公大）</td> </tr> </table> <p>VII どんな教科・科目を学んでおくと役に立つか？</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>数学</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	企業経営にまつわる資格。	・中小企業診断士 ・社会保険労務士	金融・会計にまつわる資格。	・証券アナリスト ・フィナンシャルプランナー	民間企業への就職が圧倒的に多い。	経営企画やマーケティングの知識を活かしたいという思いから、メーカー、流通、サービス業などを志望する人が多い。	・法政大学 ・武蔵野大学 ・目黒大学 ・生正大学	・明治大学 ・明治学院大学 ・国学院大学	・文京学院大学 など（私立）	・首都大学東京（公大）	数学				<p>VIII 他の方の話を聞いて感じたこと、考えたこと。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>色々な人の話を聞いて、今までその学部にもっていたイメージ違うところがあったりしました。</td> </tr> <tr> <td>そして、その学部を調べた理由を聞いて、私とは全然違う考え方や将来の夢を聞くことにおいて、自分にとって新しい考え方が生まれました。</td> </tr> <tr> <td>色々の学部や学科があることを知り、自分の興味のあるものや、将来の夢において、たくさん進む道があるんだと思いました。</td> </tr> <tr> <td>なので、今私が興味をもっていることやこれから興味をもって将来の夢につぶしていきたいと思うことを見つけたら、どんな学部や学科が適しているのかを詳しく調べておきたいです。 (おまじ)</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table>	色々な人の話を聞いて、今までその学部にもっていたイメージ違うところがあったりしました。	そして、その学部を調べた理由を聞いて、私とは全然違う考え方や将来の夢を聞くことにおいて、自分にとって新しい考え方が生まれました。	色々の学部や学科があることを知り、自分の興味のあるものや、将来の夢において、たくさん進む道があるんだと思いました。	なので、今私が興味をもっていることやこれから興味をもって将来の夢につぶしていきたいと思うことを見つけたら、どんな学部や学科が適しているのかを詳しく調べておきたいです。 (おまじ)						
企業経営にまつわる資格。																									
・中小企業診断士 ・社会保険労務士																									
金融・会計にまつわる資格。																									
・証券アナリスト ・フィナンシャルプランナー																									
民間企業への就職が圧倒的に多い。																									
経営企画やマーケティングの知識を活かしたいという思いから、メーカー、流通、サービス業などを志望する人が多い。																									
・法政大学 ・武蔵野大学 ・目黒大学 ・生正大学																									
・明治大学 ・明治学院大学 ・国学院大学																									
・文京学院大学 など（私立）																									
・首都大学東京（公大）																									
数学																									
色々な人の話を聞いて、今までその学部にもっていたイメージ違うところがあったりしました。																									
そして、その学部を調べた理由を聞いて、私とは全然違う考え方や将来の夢を聞くことにおいて、自分にとって新しい考え方が生まれました。																									
色々の学部や学科があることを知り、自分の興味のあるものや、将来の夢において、たくさん進む道があるんだと思いました。																									
なので、今私が興味をもっていることやこれから興味をもって将来の夢につぶしていきたいと思うことを見つけたら、どんな学部や学科が適しているのかを詳しく調べておきたいです。 (おまじ)																									

2. 1. 2 生徒の様子や効果

前半の調べる作業においては、自分が興味のある学部・学科のためか、概してしっかりと取り組んでくる生徒が多い。仕事は、文系的なものや理系的なものに分類できること、そして大学のどの学部で学んだかが仕事に直結していることを、生徒は初めて認識するようである。また、LHR後の感想から意外なことが分かる。多くの生徒は、クラスメイトが自分以上に将来について深く考えていることに大きな衝撃を受けるようである。また、多くの職業で英語が必要とされること、高校時代の勉強やクラブ活動などが仕事（内容）に直接影響を与えていることに驚くようである。以上から、LHRでの分かち合いは、生徒の「気づき」の場として大変有効であると思われる。

2. 2 『学部学科新聞』

2. 2. 1 実施方法と時期

1学期中間考査終了後に主に進路通信を使って新聞の書き方を生徒に示す。6月の中旬を毎年提出の締め切りとし、全員分を1学期中廊下に掲示する。ここ数年で目立つのは、パソコンを巧みに使える生徒が増加し、約半分の生徒がパソコンを使用して作成してくることである。本校でも「情報」の授業が行われているが、IT教育と連携していくことがこの『学部学科新聞』の未来と言えよう。しかし中には、ウェブ上の文章をそのまま貼り付ける者もいるので、そう

いった面での指導も必要であろう。

2. 2. 2 生徒の様子や効果

1年次に『社会研究新聞』を行っているので、生徒は新聞作りに関して特に難色を示さない。概して見出しやリードも工夫が見られ、グラフや写真等も効果的に利用できている。学部学科について理解を深めることはもとより、将来必ず必要とされる「プレゼンテーション能力」も養うことができているように感じる。この点は今後さらに強調して行って良いことかもしれない。休み時間や放課後の時間においては、廊下に掲示された他人の新聞をじっくりと眺めている生徒をたくさん見ることができた。

法学部法律学科

**法と政治の視点から
現代社会を考える**

2年3期は第1回
オープンキャンパス

法学部法律学科

法学部法律学科は、法律の基礎知識を習得し、社会で活躍するための実践力を養成する。また、法律の発展に貢献する人材を育成する。

1. 法律の基礎知識を習得する
2. 法律の発展に貢献する人材を育成する

法学部法律学科

法学部法律学科は、法律の基礎知識を習得し、社会で活躍するための実践力を養成する。また、法律の発展に貢献する人材を育成する。

1. 法律の基礎知識を習得する
2. 法律の発展に貢献する人材を育成する

法学部法律学科

法学部法律学科は、法律の基礎知識を習得し、社会で活躍するための実践力を養成する。また、法律の発展に貢献する人材を育成する。

1. 法律の基礎知識を習得する
2. 法律の発展に貢献する人材を育成する

法学部法律学科

法学部法律学科は、法律の基礎知識を習得し、社会で活躍するための実践力を養成する。また、法律の発展に貢献する人材を育成する。

1. 法律の基礎知識を習得する
2. 法律の発展に貢献する人材を育成する

期	人数	人数	割合
1	100	100	100%
2	100	100	100%
3	100	100	100%
4	100	100	100%
5	100	100	100%
6	100	100	100%
7	100	100	100%
8	100	100	100%
9	100	100	100%
10	100	100	100%
合計	1000	1000	100%

2. 3 『学部学科選択』

2. 3. 1 実施方法と時期

夏休み中にオープンキャンパスに参加させ、進路ノートを完成させる。7月上旬に進路通信を配布し、生徒に配布する冊子「Open Campus」に掲載された主な大学のオープンキャンパス実施日程を生徒に示す。時期が早いものは、7月中旬に行われるものがあるので注意を促す必要がある。1年時のオープンキャンパス参加と大きく異なるのは、1年時では「文系・理系の選択」のための手がかりを探させるようなワークシートになっている一方、2年時においては「志望する学部学科の特徴」「入試の特徴と対策」「大学周辺的环境」といった、受験や大学生活について考えさせるようなワークシートになっている点にある。この点を強調して指導に当たれば、より効果的である。ほぼ毎年、進路部から「夏休みの学習計画」が配布される。オープンキャンパスと関連付けて指導するとさらに効果的であると思われる。

2. 4. 2 生徒の様子や効果

この時期2年生では、進路関係の動きとして、受験校・学部学科を決定させ、受験科目を確認させ、3年次の選択科目指導を行っている。2年2学期、特に修学旅行以後、生徒達はかなり大学受験に対して興味を抱いており、このプログラムに大変興味深く取り組んでいるようである。まず事前学習においては、ほとんど全ての生徒が大学講師から与えられた課題にしっかりと取り組んでくる。中には、「EUについて調べてくる」とか「光の性質について調べておく」といった、具体的な取り組みが難しい課題もあるが、かえって本来あるべき自主的な学習を促すことに、一役買う結果になっているようである。生徒指導に当たる際、ここで大切なことは、自ら考えることを強調することであろう。内容が専門的になればなる程、より自主的な学習が必要とされるのである。講義はまさに大学の講義そのものである。ほとんどない板書、あったとしてもお世辞にも丁寧とは言えない板書に驚いたり、聞きなれない専門用語に困惑したりしながら、生徒は90分の授業を経験する。まず生徒達は、今までに経験したことのないような授業のスタイルや、専門性の高さに惹きつけられているようである。後で記入させる「講義レポート」では、「今まで以上に興味を持つようになった」「自分の選択が間違っていないと確信した」といった内容を、たくさん目にすることができる。また例えば、「国際学部がどんなところなのか初めて分かった」などの感想もたくさんあり、自分が進もうとしている学部がどんなところなのかを、本当の意味で理解した生徒も少なくないようである。

2. 5 『合格者の体験談（3年生メッセージ）』

2. 5. 1 実施方法と時期

2月下旬から3月上旬にかけて、主にMARCH早慶上理に合格した3年生にスピーチを依頼し、自身の進路選択や受験勉強について語ってもらう。3月中旬に実施される。1クラスにつき3名の卒業生がスピーチするように時間設定をする。1人のスピーチは質疑応答も込みで20分である。22年度は東北関東大震災の影響による学校行事中止で実施されなかった。

2. 2 『学部学科新聞』

1年次の『社会研究新聞』への取り組みの経験が活き、新聞作りのレベルが上がっていた。グラフや写真にも見易さへの工夫がみられた。廊下に掲示された新聞を興味深く読んでいる多くの生徒の姿が印象的であった。将来、必要な発表する力、資料をまとめる力の育成に役立つと思われる。

2. 3 『学部学科選択』

1年次のオープンキャンパス参加経験が活きており、オープンキャンパス参加に意欲的であったようにみえた。後々、面談などで、志望校を選ぶ契機を尋ねると1.2年次のオープンキャンパスがきっかけの者の数が多く、良い効果が表れている証拠と感じた。また、通学時間や周辺環境、学費などにも目を配る生徒が多く、現実的な進路選びに役立っているようである。

2. 4 『大学模擬授業』

希望通りの講義に出席できる者は、各種課題にも積極的に取り組む様子が窺えた。90分の長丁場の授業への出席も良き経験となっているようである。大学の教員の授業を聴く中から、今までの受け身学習が多い高校生活と異なり、課題に積極的に向かわなければならないという姿勢も学べるようである。反面、希望通りでない講義に出席する生徒たちの課題取り組みへどのように動機づけをしていくかということや、ひとつの授業を聴いて、大学の授業の全てとしてイメージが固定してしまうことを避けることが今後の課題でもある。

2. 5 『合格者の体験談（3年生メッセージ）』

少し年上の先輩たちの合格の喜びを直に聴くことは、それだけで2年生を惹きつけるものがあった。春から本格的に受験勉強に取り組むための気持ちを引き起こすものとして充分であった。

2. 3 学年進路学習について

3. 1 『3年進学説明会』

3. 1. 1 実施方法と時期

主に現役大学生（卒業生、原則として3～4年在籍）を招き、専門的な勉強の面白さ、大学生活の魅力を語ってもらう。生徒の大学への理解を深め、進学のコモチベーションを上げるのがねらい。4月中旬に実施される。当日は、午前中4時間授業。1クラス3名程の卒業生がスピーチするように時間設定をする。1人のスピーチは質疑応答も込みで20分である。事後、生徒には進路ノートに感想を綴らせる。スピーチ者には、事前に要項と大学宛の依頼状を郵送した上で、進路部または卒業時の担任より電話連絡し、必要事項を確認する。

時期（平成23年度の予定）

10月28日（金）	・原稿用紙準備
10月31日（月）	・原稿用紙配布
	・全体の表紙／裏表紙 依頼（公募）
	・クラスの扉絵（表／裏）依頼（クラスごと） 表紙と扉絵の原稿用紙は、届き次第配付する。
11月30日（水）	・担任から進路部教員へ原稿・扉絵を提出
	・先生方の原稿提出
12月1日（木）	・文集業者に原稿を引き渡し
1月初旬	・校正 仕上がった活字原版を生徒に戻す

数回の校正の後、最終仕上がりは、2月後半（卒業式の約1週間前）となる。

三年間で学んだこと

三年間の高校生活で学んだことが二つある。

一つ目は、「自信を行動から勝ち取る」と。私は以前、石橋を叩いても渡らないような人間だった。何事にも積極的に行動しようと思わず、自信が持てなかったからである。しかし高校二年生のときひよんなことからNGOのボランティア団体に参加し、自分のそれまでの価値観が大きく揺らいだ。いつかやるなら今やろう、誰かがやるなら自分がやろうと思えるようになった。「案ずるより産むが易し」ということわざがあるように、うじうじしてないでまず勇気を出して一歩前進した時に自信が生まれてくる。行動的であるために必要なことは、軽いフットワークを持つことと、物事に取り組みむ労をいとわないことである。安全と安定のみを求める者に進歩はない。むしろリスクを冒しても挑戦することに、生きがいを感じていきたい。

二つ目は、「良い心構えと習慣」。成功は心構えの所産である。他人の言動に惑わされず、悪条件にも負けず、強い意志を持って人生に直面することが大切だ。自分をさらに高めなければだめだ、価値あるものを求めようとしなければだめだ、という焦燥感が時として人を成長させる。また、同時に成功は習慣の所産でもある。何か特別変わったことをするのはなく、やるべきことを効果的にこなし、どんな時であっても目標に向かって自分を駆り立てていける人間になりたい。

最後に、アインシュタインが残した言葉を紹介する。

「昨日から学び、今日のために生き、明日に希望を持つ。」

3. 2. 2 生徒の様子や効果

一生涯残るものということで、3年間の歩みを自分自身でテーマ設定し、きちんと構成を練り上げて取り組んでいた。文章にすることで、自分の高校生活を客観的にみつめ、思い出に浸ると同時に新たな自己を創るための契機となった。